

卒業生代表の言葉

空は青く澄み渡り、春の暖かさを感じる季節となりました。この良き日に、素晴らしい会を開いてくださり、誠にありがとうございます。先生方、在校生の皆様に厚く御礼申し上げます。

3年前、私たちはまだ名前も知らない仲間と共に、これから始まる新しい生活への大きな期待と不安を抱き、この礼拝堂にいました。そして同じ地区から来た人、また県外から来た仲間と今日まで一緒に勉学や部活動に励んできました。

学校生活で私が一番印象に残っていることが生徒会活動です。中でも文化祭は生徒会役員としての最後の仕事であり、かける想いもひとしおでした。ミーティングは多岐にわたりました。テーマを始め、ポスター・前日祭・有志ステージ・クラス企画と多くのことを決めなければなりませんでした。その中で私自身、有志ステージ参加、念願だった太鼓を演奏し、その感動は今でも忘れられません。

生徒会活動では計画通りに進まないことがたくさんあり、臨機応変な対応が求められました。状況に応じた的確な判断で、場の空気が良い方向に変わったことも経験しました。それは私にとって大きな学びでした。支えてくれたメンバーにもこの場を借りて改めて感謝いたします。

卒業式を控え、一緒に学んだ仲間との別れを思うと悲しさでいっぱいです。しかし、私たちに、また新しい出会いがあります。「出会い」「別れ」その繰り返しが人生なのだと言ひ聞かせ、新しい道を歩んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、私たちが無事に学校生活を送ってこられたのは、担任の先生をはじめとする諸先生方、家族や多くの方々のおかげです。本当にありがとうございます。

卒業後も変わらずご指導くださいますよう、全ての皆様に心よりお願い申し上げます。私たちの学び舎「聖光学院」がこれからも素晴らしい歴史を刻んでゆかれますことをお祈りして卒業生代表の言葉とさせていただきます。

令和2年2月28日

卒業生代表 角田琉河



在校生代表の言葉

厳しい冬の寒さが和らぎ始め、春の兆しを感じられる季節となりました。

本日、晴れて聖光学院高等学校卒業式を迎えられた三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

私たちは先輩方とともに過ごす中で、様々なことを知り、様々なことを学びました。部活動では、毎日放課後になるとグラウンドや体育館で練習に励み、目標へと近づくために努力する先輩方の姿が見られました。また、放課後だけではなく、朝には走り込みや練習をしていたり、休憩時間にも素振りをしたりと、見えないところでの地道な努力を欠かさず行っていました。そのような姿から私たちに努力を惜しまずに目標に突き進んでいくことや厳しさを教えていただきました。

学院祭や競技大会、マラソン大会などの学校行事では、先輩方がリーダーシップをとり、率先して盛り上げ、活気あふれる行事にしてくださいました。当日だけではなく、準備や片づけのときには、とても手際よく、メリハリをつけて行動する姿に、多くを学びました。

この先、先輩方はそれぞれの道に進み、それぞれの分野で活躍させることと思います。先輩方の前途は決して平坦ではないかもしれませんが、しかし、聖光学院で過ごした三年間の高校生活を思い出し、困難を乗り越え、何事にも負けずに頑張ってくださいることを願っています。

私たち在校生も先輩方から受け継いだ伝統を守り、さらに発展させていきたいと思えます。最後に、卒業を迎える皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます、在校生代表の挨拶と致します。

在校生代表 生徒会長 戸田 優衣

